

特集 寄付で支える住みやすいまち

住みやすいまちを作っていく取り組みの1つに寄付があります。区は皆さんからの寄付を、次世代を担う子どもたちの育成や福祉の充実、災害に強いまちづくりなどに役立てています。

今回は、皆さんからいただいた寄付を活用して実現した取り組みの一部を紹介します。

図秘書課(☎5722-9152、☎3716-7093)

活用例 1



ヒーローバスは「広い遊び場(広場)」と「バス」を組み合わせて名付けられました

ヒーローバスで園児を広い公園に

ヒーローバス運行プロジェクトは、子どもたちがのびのびと遊べる環境を確保するため、幼児専用車で保育士と園児を歩いて通えない広い公園に送迎する事業です。全国初となるこの取り組みは、クラウドファンディング型ふるさと納税(※)による寄付で実現しました。現在、3台のヒーローバスを運行。より多くの園児たちが屋外で思いきり遊べる機会を作っています。



▲駒沢オリンピック公園で元気に遊ぶ園児たち
※インターネットを介して趣旨に賛同してくれる人から資金を募る方法

活用している保育士の声



▲こここく保育園碑文谷の保育士の皆さん

みんなバスが大好き！

月3回ほどヒーローバスで駒沢オリンピック公園に遊びに来ています。子どもたちはバスに乗るのが大好きで、前日から楽しみにしています。公園で遊ぶのは1時間。大きな滑り台を滑ったり、ジャングルジムに登ったり、とても楽しそうです。ヒーローバスで出掛けた日は、よく給食を食べ、よく昼寝をしています。

寄付した人からのエール

うちの子も以前は園庭のない保育園にお世話になっていました。このヒーローバスの取り組みは素晴らしいと思います。これからも、たくさん子ども達が毎日、のびのびと体を動かして楽しく過ごせるように応援します！

活用例 2



▲ショートステイや防災拠点型地域交流スペース、居宅介護支援事業所を併設した「さんホーム目黒」

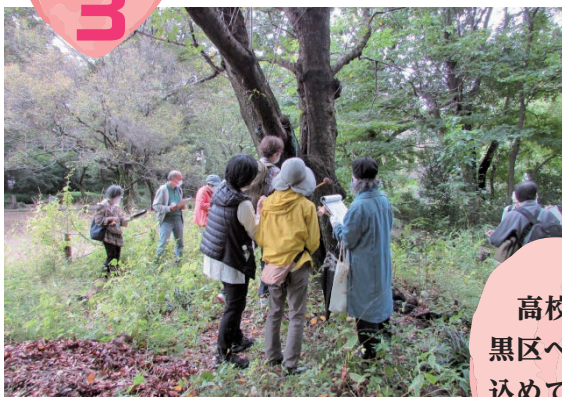
寄付した人からのエール

高齢者が増えることにより介護や医療にかかる費用も増えていくと思うたればと思います。

特別養護老人ホームの整備

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、特別養護老人ホームの整備を進めています。整備に当たっては、民間活力を活用し、区は施設整備する民間事業者に支援を行っています。3年8月に開設した「さんホーム目黒」は、寄付金を活用して支援しました。今後も介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、介護施設の整備を進めていきます。

活用例 3



▲サクラ保全活動の観察会の様子。樹木医が桜の幹を木づちでたたき、状態を確認

寄付した人からのエール

高校卒業まで育った目黒区への感謝の気持ちを込めてサクラ基金に寄付します。毎年春に眺めた桜並木が今後も残りますように。

めぐるサクラ再生プロジェクト

区内の公園や緑道、道路緑地などには約2,200本の桜が植えてあります。しかし、高齢化などで樹勢の低下や倒木が懸念されています。目黒の桜の風景を後世に伝えるため、目黒のサクラ基金を設立し、皆さんからの寄付を活用して樹木診断や保全・更新を行っています。今年度は碑文谷公園のサクラ再生実行計画の作成にも取り組んでいます(11面参照)。

寄付金の主な使い道

目黒区への寄付の使い道は、皆さん自身で選ぶことができます。



ウクライナから避難しているかたへの支援



新型コロナウイルス等感染症対策



産業振興で地域経済の活性化(産業振興基金)



スポーツを通じたまちづくり(スポーツ振興基金)



福祉の充実(社会福祉施設整備基金)



子育て応援(子ども・子育て応援基金)



目黒の桜を守る(サクラ基金)



学校の環境整備(学校施設整備基金)



地震に強いまちづくり



まちづくり活動



文化の香り高いまち



動物愛護



子どもの療育の充実



学校備品などの充実



図書館資料の充実



区にお任せ

目黒区への寄付をお考えのかたへ

個人または法人のかたから寄付を受け付けています。寄付の申し込みは、主にふるさとチョイス(コード①)、ふるさとパレット(コード②)、窓口の3つの方法があります。詳細は区HP(コード③)をご覧ください。お問い合わせください。



いろいろな寄付のかたち

日本赤十字社



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社では、次のように活動資金、国内災害義援金、海外救援金の寄付を募集し、活用しています。

①活動資金

災害救護活動やこころのケア、救援物資の配布のほか、救急法等の講習普及、ボランティアの育成、地域や子どもたちの防災教育など、命を救うさまざまな活動に活用されます。

②国内災害義援金

全額を被災都道府県に設置される義援金配分委員会へ送り、被災地の方々の生活支援に役立てられます。

③海外救援金

海外で発生した災害や紛争による被災者に対する医療支援、衣食住整備支援、緊急救援、復興支援、保健衛生活動などに役立てられます。

寄付の方法

地域振興課区民活動支援係の窓口(※)などで受け付けるほか、インターネットや振り込みで寄付できます。詳細は区HP(コード④)、日本赤十字社東京都支部HP(コード⑤)をご覧ください。※②は地区サービス事務所、住区センター、図書館などでも受け付け



図日本赤十字社東京都支部目黒区地区事務局(地域振興課区民活動支援係内、☎5722-9871、☎5721-7807)

赤い羽根共同募金



寄付の方法

インターネットや振り込みで寄付できます。詳細は赤い羽根共同募金HP(コード⑥)をご覧ください。



図共同募金会目黒地区協力会事務局(地域振興課区民活動支援係内、☎5722-9871、☎5721-7807)

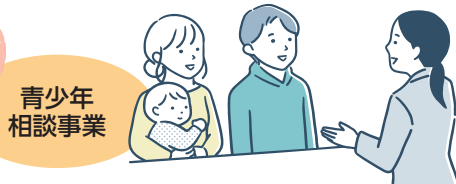
歳末たすけあい・地域福祉募金にご協力ください

歳末たすけあい運動は、共同募金の一環として、目黒区社会福祉協議会が中心となり、町会・自治会・民生児童委員の皆さんの協力を得て、地域福祉の充実のために行われます。頂いた募金は、支援を必要とするひとりぐらし高齢者などへの見舞金や地域福祉活動推進のために活用されます。

募金期間 12月31日(土)まで

図目黒区社会福祉協議会(☎3711-4995、☎3719-8715)

活用例



青少年相談事業

活用例



高齢者の通所用車両の整備

フードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食品を寄付してもらい、食品を必要としている福祉施設などで活用する取り組みです。食品ロスの削減にもつながります。

図総合庁舎別館6階エコライフめぐる推進協会

図エコライフめぐる推進協会(☎3715-7835、☎3715-8826)